

農福連携事例紹介

ラディッシュ調整・選別作業（施設内就労）

概要 生産者が収穫したラディッシュを施設に持込み、調整・選別作業を行っている。

- 手順
- ① ラディッシュをコンテナから出し、作業台に置く。
 - ② 一目で規格外とわかるもの（小さすぎるもの、変形、傷物等）を取り除く。
 - ③ ②で残ったラディッシュから無駄な葉を除去する。
 - ④ サイズを計測し、S、M、L、規格外に選別してカゴに入れる。
（微妙なサイズの規格外品等はこの段階で選別、除去する。）
 - ⑤ カゴがいっぱいになったら、袋がけしたコンテナにラディッシュを移す。
 - ⑥ コンテナがいっぱいになったら、ラディッシュの上にタオルを被せておく。
- ※ ラディッシュの葉が乾いて萎れるのを防ぐため、作業前、作業中、作業後において霧吹きを随時実施する。（実施頻度は気温や湿度により異なるが、概ね5～10分間隔。）

写真



調整前ラディッシュ



生産者提供の掲示物（適合・不適合の例示）



作業台（作業開始直後）



調整①（規格外，下葉・虫食い葉の除去等）



調整②（規格外，下葉・虫食い葉の除去等）



サイズ計測器（スポンジ製）



調整済みラディッシュの選別（サイズ計測）



サイズ別に分ける（左から規格外，S，M，L）



選別後，カゴからコンテナに移す



きれいに並べて重ねていく



タオルを被せる（袋内が蒸れるため密閉しない）



廃棄物（除去葉等）と選別後コンテナ



霧吹き：乾いて葉が萎れないよう作業前・作業中・作業後を通して5～10分間隔で実施する。

※ 調整・選別後のラディッシュは施設職員により搬送・納品され、生産者によって包装・出荷される。なお、この事例では除去した葉等の廃棄物も生産者が引取り、処分を行っていた。

（令和元年7月5日 旭川市農政部農業振興課作成）